

# コロナ専門家有志の会 対話ワークショップ 実施報告書

**イベント** コロナ専門家有志の会 対話ワークショップ

**主催** コロナ専門家有志の会

**協力** 科学コミュニケーション研究所 さくり

**日時** 2021年7月17日 土曜日 13時00分～16時00分

**場所** Zoom ミーティング



# 目次

概要	4
体制	5
参加者	6
プログラム	8
記録 アンケート（ワーク前）	9
記録 ワーク 1	11
記録 ワーク 2	13
記録 ワーク 3・4（略）	16
記録 ワーク 5	19
記録 アンケート（ワーク後）	25
記録 イベント終了後アンケート	27

# 概要

- イベント** コロナ専門家有志の会 対話ワークショップ
- テーマ** 新型コロナウイルス感染症に関する日本の現状について
- 主催** コロナ専門家有志の会
- 協力** 科学コミュニケーション研究所 さくり
- 日時** 2021年7月17日 土曜日 13時00分～16時30分
- 場所** Zoom ミーティング
- 目的** 新型コロナウイルス感染症に関する日本の現状について、対話を通じて論点を明らかにする。
- 概要** テーマについて参加者同士で話し合い、疑問点を専門家に問いかけ、専門家からの問いに答える。
- 参加者** 一般市民（知識、経験不問） 8名（2名欠席）  
コロナ専門家有志の会メンバー 6名

**参加方法** Zoom ミーティング

**謝金** 4200円（税込）翌月10日指定口座に振込

## 結果の利用方法

- 1 結果は、参加者個人が特定できる情報を一切除外して報告書としてまとめ、一般に公開します。
- 2 映像、音声、文字起こしなどの記録は、主催者及び科学コミュニケーション研究所 さくりの関係者（守秘義務を負う者）を除いて開示しません。
- 3 参加者は、対話の内容、とくに他の参加者の個人情報に関わることについて、口頭、SNSを含め、第三者へ開示することはできません。

# 体制

## イベントデザイン・オペレーション

科学コミュニケーション研究所 さくり

## ファシリテーター

田中 幹人（早稲田大学）

奈良由美子（放送大学）

田原敬一郎（科学コミュニケーション研究所 さくり）

## スーパーバイザー

吉田 省子（北海道大学）

## ディレクター

白根 純人（科学コミュニケーション研究所 さくり）

# 参加者

## コロナ専門家有志の会

尾身 茂（独立行政法人 地域医療機能推進機構）

館田 一博（東邦大学）

中島 一敏（大東文化大学）

前田 秀雄（東京都北区保健所）

脇田 隆字（国立感染症研究所）

和田 耕治（国際医療福祉大学大学院）

### **一般参加者（居住地 職業 年代 性別）**

参加者 A（神奈川県 学生 20代 その他）

参加者 B（長崎県 主婦 30代 女性）

参加者 C（大分県 会社経営 30代 男性）

参加者 D（岩手県 看護師 40代 女性）

参加者 E（神奈川県 不動産業 40代 女性）

参加者 F（大阪府 兼業主婦 50代 女性）

# プログラム



## アンケート（ワーク前）

テーマについて、一般参加者が対話前の知識と直感を頼りに、4段階で評価する。

## ワーク1

テーマについて、一般参加者がよいと思う点を話し合う。

## ワーク2

テーマについて、一般参加者がよくないと思う点を話し合う。

## ワーク3

テーマについて、一般参加者がよくわからない点（疑問点）を話し合う。

## ワーク4

一般参加者の疑問点に、専門家が答える。

## ワーク5

専門家から一般参加者に質問し、一般参加者が答える。

## アンケート（ワーク後）

テーマについて、一般参加者が対話を踏まえて、4段階で評価する。



# 記録 アンケート（ワーク前）

新型コロナウイルス感染症に関する日本の現状について、現在の知識と直感を頼りに、次の選択肢の中からご自身のお考えに近いものを選び、チャットボックスに番号とそれを選んだ理由を入力して下さい。

- 1 評価できる
- 2 どちらかという人评价できる
- 3 どちらかという人评价できない
- 4 評価できない

記入例 1 . . . . . だから。

## 評価 3

### 参加者 A

ワクチン接種が大幅に遅れていたり、幾度も緊急事態宣言が出たりと色々な点で後手後手になっているように思えるから。

### 参加者 B

どちらかという人评价できない

対応の遅さを指摘されていてもやはりそれが改善されない。ダラダラとまとまりのないことを個々のタイミングでやっているような気がします。

### 参加者 D

ワクチン接種がなかなか若い人までいきわたっていない。

高齢者は書類が来てもそもそも文字が小さくて読めず、結局民生委員や地域の医療福祉機関がいちいち電話して予約するのに大変であった。そもそも書類がとど

いても高齢者は書類はそのままにしたりして、接種までいきわたらず、いちいち民生委員などが声掛けを行い接種するように促してとても大変だった。また、副作用が怖いから打たない、行くのが大変だからいけないなどの意見も多くあった。

### **参加者 E**

やる事が中途半端な感じがする。緊急事態宣言など。  
目先の事しか見ていない感じがする。

### **参加者 F**

①税金の無駄遣いが多過ぎるように思う（オリンピックの野外觀戦場を作り出すも中止に。子供1人ずつタブレット配布。等 ②大阪府の吉村さんが安全な飲食の店の基準を厳しくしているのは大正解。嬉しい！さすが！！東京のガバガバとは大違い。③タバコの煙は大丈夫なのか？不安。話題にもならない。

## **評価 4**

### **参加者 C**

せっかくワクチンをスピーディーに提供しても、管理不十分でワクチンを打った人が安心して他県に遊びに出て亜種に感染している。ワクチンの保管管理も悪く、行き渡っていないのが不満。

# 記録 ワーク 1

新型コロナウイルス感染症に関する日本の現状について、

よいと思う点はどこですか？

あなたの自身のことでも、周りで言われていることでも構いません。

3つ以上チャットボックスに記入してください。

## ワクチン

- ・ワクチンの早期対応
- ・ワクチンの提供対応が早い
- ・コロナワクチンが日本より普及していない国もあるので、それよりかは順位は低いですがワクチンが普及されてきているのは良いとは思う
- ・ワクチンに対する拒否のデモが起こらず、従順に従う人が多いから国はやりやすいと思う
- ・ワクチンを欲している段階でも、中国製やロシア製やらを使わない事。
- ・コロナワクチンの副作用が出た際に医療機関にかかった場合、給付金が出る点(ただ、医療をうけた証明書の発行に 2-3000 円かかるから結局申請しなかった。)
- ・ワクチンの提供対応が早い
- ・日本先行でスーパーワクチンを開発しているらしい事。技術に関するスピーディーな事。

## 国民の意識

- ・諸外国に比較して、みんな律儀にマスクしたり感染防御をする従順な国民性
- ・何に関しても安全性にこだわっているところ
- ・マスクをつける文化が元々あったこと
- ・国民の除菌意識が高まり、風邪をひきにくくなったと報道されている事

## 経済支援

- ・助成金のおかげで会社が助かった。
- ・保証制度 融資を受けられた
- ・国や県からの補助金を出しているので経済への重大な影響を認識していると思う。

## 感染者への対応

- ・コロナ感染者への素早い対応

## 緊急事態宣言

- ・早めに緊急事態宣言を求めている事。

## 生活の変化

- ・町内会の行事がすべてなくなった事。

## 予防器具

- ・健康器具 ( 予防器具 ) などがたくさん出回っていること。

## オリンピック

- ・オリンピックが無観客になったこと。

## 学校

- ・学校行事に関して柔軟性が見えてきたこと

# 記録 ワーク 2

新型コロナウイルス感染症に関する日本の現状について、

よくないと思う点はどこですか？

あなたの自身のことでも、周りで言われていることでも構いません。

3つ以上チャットボックスに記入してください。

## ワクチン

- ・かかりつけ医でワクチン接種が始まりましたが、待機場所が密。椅子の間隔なさ過ぎる。それでなくても高齢の方はおしゃべり好きなのに。
- ・ワクチン接種の行列
- ・小児科でもワクチン接種を受け入れるところが増えてきた。
- ・ワクチンが痛そう、副作用が仕事に影響が出そうで積極的になれない
- ・高齢者へ封書で接種券を郵送しても読まないし、電話折り返しして予約なんてしないし、しかも送迎の予約もしないといけないし、。せめてかかりつけ医で接種できればよかった。予約から集団接種会場に行くまでが大変であった
- ・ワクチン打って死亡したら4千万円出るとのこと。出た試しがない。

## 店舗などの感染症対策

- ・体温計のチェックが雑過ぎる
- ・感染予防対策にアルコール除菌を使う店が多いので、手に怪我がある人には不便

- ・エレベーターなど、どうしても密になる場所に対策の掲示が無い
- ・予防対策していますとうたっているがしていないところが多い。

## 給付金

- ・医療従事者への給付金が少ないと思う。飲食業の友人は給付金をもらい遊んでいるのに。医療従事者だけがボーナスも減ったり。悲惨な労働環境の中働いていて格差を感じる 医療従事者の善意がなければ なりたたないとも多い
- ・もっと公平に手当を医療従事者にもだしてほしい

## オリンピック

- ・オリンピック開催
- ・オリンピックでの様々なリスクの軽視
- ・オリンピックの選手の体温測るのが、非接触タイプ体温計。大丈夫なのか？

## メディア

- ・メディアの報道の仕方が悪い。とくにテレビ。なのでもう最近ではテレビはみず、YOUTUBEやツイッター、WEBで情報は得ている。
- ・テレビはステレオタイプで不安ばかりをあおぐ画一的で同じ情報

## 緊急事態宣言

- ・緊急事態宣言 飲食業界の方達だけ負担が大きい事
- ・若者やお酒を提供するお店などを悪者のように扱うこと

## 感染症対策と経済

- ・国民の健康を重視しているのか、疑えてしまうような政府の対応

## 高齢者の外出

- ・高齢の方の不要不急でない外出があまりにも多すぎる。

## 感染者への差別

- ・コロナ感染症になった人をふくろだたきにする点→岩手ではコロナ感染症になった人が白い眼でみられ耐えられず自殺に追い込まれたと聞いた

# 記録 ワーク 3・4 (略)

新型コロナウイルス感染症に関する日本の現状について、

よくわからない点（疑問点）はどこですか？

あなたの自身のことでも、周りで言われていることでも構いません。

3つ以上チャットボックスに記入してください。

## ワクチン

- ・ワクチンは本当に安全なのか？
- ・ワクチンを接種しないと決めている方へのケア
- ・ワクチン打ったら感染しないと思っている人が多いように思う。打った後でも予防は大切なのだともっと知らしめてほしい。
- ・いつまでコロナ対策をすべきか（マスクはつけるべきなのか？）ワクチン接種した人はもうマスクしていない人も出てきているが。
- ・ワクチンを打った人はマスクなし、旅行 OK?
- ・今後、インフルエンザワクチンのように一年に一度接種が必要になるのか？
- ・ワクチン接種し得た抗体は減退していくのか？毎年接種が必要になるのか？
- ・ワクチンは今回限りでなく、インフルエンザの予防接種のように定期的に打たなければならないのか？
- ・また上記のタイミング（年に1回など）はどれくらい？
- ・ワクチンの安全性について。モデルナとファイザーなど。実際わたしは蕁麻疹が接種二日後に全身にでてしまって、点滴 + ステロイド + 抗アレルギー剤を内服



しているが。

- ・アストロゼネカ製は何故仕入れたのか？
- ・スーパーワクチンについて知りたい
- ・ワクチン治験の連絡があるが、リスクはどれほどなのか？日本製なのでやりた  
いけど怖い。

## **感染防止策**

- ・アルコール除菌とエタノール除菌ではどちらの方がコロナ対策に適しているの  
か
- ・密にならざるを得ない環境下での対策掲示を明確にして欲しい (注意しづらい)
- ・対面が必要なもの物事と感染症予防との折り合いについてもやもやしている
- ・鼻マスクの危険度

## **緊急事態宣言**

- ・緊急事態宣言ではなく、なぜロックダウンしないのか

## **オリンピック**

- ・コロナ下にあってなぜオリンピックを開催するのか

## **メディアの信憑性**

- ・メディアの報道に信憑性が無いので、意識が高くコロナの情報を調べる人でな  
いと正しい情報を探しづらい

## **ウイルスの起源**

- ・結局コロナは\_\_どこから発生したのか？これは仕組まれたことなのか？自然発  
生的なものなのか？

## **検査**

- ・PCR 検査も値段や検査方法などキットも含め、さまざまなものができました  
が、信憑度はいかなるものなのか

## 今後の見通し

- ・コロナはいつ終息するのか？日本のワクチンいつ出来るの？治療薬はいつ出来るの？

# 記録 ワーク 5

## 専門家から問い1（信頼できる情報、情報を選択する基準）

Youtube などテレビ以外の方法で情報を得ている、情報が氾濫しているという話があったが、いったいどういう情報なら信頼できるか。また、どのような判断基準で情報を選んでいるのか。重要なのは、発信主体の信頼性か、自分の意見との親和性か。

マスコミと直接接する機会が多いが、実感として、専門家側の力不足もあると思うが、ときとして、メディア側にすでに伝えたいメッセージがあり、それにしたがって情報がきりとられる。そのため、専門家として伝えたいメッセージが伝わらない。

有志の会からインターネットで発信したらどうかという意見もあったが、本来の仕事がある中で、取り組まなければならない。有志の会として時々発信しているが、日常業務も多忙の中、確かな情報を責任をもって伝える必要があり、気軽にできるものではない。一方で、短いメッセージを出していくことも一案かと感じた。

## 参加者からの回答1

わたしの母は好きなコメンテーターの意見を信じたがる。自分と意見が異なった場合、コメンテーターの意見を裏付ける情報を探す。

## 参加者からの回答2

ワクチンの副作用について、市のコロナ対策室や保健所に相談したが有益な情報は得られなかった。そのため、2回目のワクチン摂取について、主治医に聞いても判断がつかない。その後、厚労省に電話してPDF 資料を入手し、個人のフェイスブックにアップして意見を聞いた。

### 参加者からの回答3

政府による記者会見などで、「専門家の意見を踏まえて」というフレーズをしばしば耳にするが、専門家が実際どのような意見を持っているか伝わってこない。今日のワークショップを通じて、直接、専門家がわかりやすく説明して下さったことがとても有意義だった。伝え方については、専門家が一方的に情報発信しても、専門用語など分からないことが多い。一般市民の素朴な疑問に答える今回のような会をやり、発信いただくとよいのでは。

専門家からすると市民はびっくりするようなことを疑問に感じていることもあるかもしれないが、一般市民からの質問を集め、それに答えるというのがあるとよい。

## 専門家から問い2（ワクチン接種者と非接種者）

冒頭での日本の対応についての評価について、多くの人があまり評価していない状況がわかった。その理由として、対策が中途半端で、だらだらつづいているといったものがあった。

これに関して、対策を強制力をもった形でやるのがいいのか、自主的な判断、お願いベースでやるのがよいか。

ワクチン接種が進んでくると、たとえば、ワクチンを打っている人に限ってライブハウスに入場できるようにする、という話もでてくる。その際、ワクチンを打てない人へのケアをどうしたらよいか。直前に検査（PCR、抗原検査）を受けていけばよい、といったふうにしたらどうかという意見もある。同時に、それはよくないという意見もある。

### 参加者からの回答1

難しい問題。打たないという選択自体は尊重すべきだと思うし、ワクチンを打ってないからといって行動制限を設けるとするのは避けたいが、よい方法が思いつかない。

### 参加者からの回答2

ワクチンを打てない人、打たない人も公平に扱って欲しい。毎回どこか入るときに検査していたらお金がもたず、結果的に自粛せざるを得ない。

### 参加者からの回答3

他県に研修に行く機会があり、そこでは抗原検査をしてから参加する決まりになっている。それは自己責任だと思うし、それにより安心して参加できるという側面もある。お金がかかるかもしれないが、みんなの安心のためにも必要。

### 専門家から問い3（対話の仕組み）

ワクチンを打てない人について、サークルなど小さな単位で話し合うと理解が進むという話がある。

ひとりで抱え込まず、打てない人のことに思いを馳せ、みんなで話し合う機会が増えてくると良いと思うが、そういう仕組みなりのアイデアはあるか。

#### 参加者からの回答1

スポーツクラブに通っているが、そこの壁に注意喚起としてコロナワクチンについては会話しなくて、とあった。何かの理由で打ちたくても打てない人もいるから。それを読んだときに、これはデリケートな問題だと気づいた。

接種はしない派であることを気にせず言えるタイプの人もあるが、それを言えない人たちもいることを考えると、わざわざ議論せず、ワクチンの問題はデリケートであることを注意喚起する方法もあるのでは。

#### 参加者からの回答2

自己責任で判断を委ねられる現状を考えると、打てない人に対して、双方向で相談できる窓口があるとよい。

#### 参加者からの回答3

話し合うというのはこれまで考えたことなかったが、今後話してみたいと思った。

#### 参加者からの回答4（事後アンケートで回答）

私はそれをテーマに話し合うことのできるワークショップやロール・プレイングなどのひな型、フォーマットのようなものがあればいいと思った。ある程度の形ができていれば各学校機関から生涯学習センターなどの社会教育施設などでもそれを活用し、話し合う機会を作りやすくできるのではと思う。

#### **専門家から問い4（ワクチンに関する日常会話）**

ワクチン接種について、日常会話の中でどのように話題にされているか。接種した人が日常会話の中で、経験を共有してもらえないかと思っている。

#### **参加者からの回答1**

ワクチン接種の話題について、接種した人自体が周りにあまりいない状況であるが、打つか打たないかという会話が多くの印象。あとは、ワクチンは安全か、なにかの陰謀じゃないか、という話題もあり、何を信じていいかわからない。

#### **参加者からの回答2**

自分の周りの人々は、副作用を気にして、打たないという考え方がたくさんいる。自治体として、高齢者が打ち、医療従事者が打ち終わったという段階。副作用の情報源は主に医療従事者だと思うが、前向きな意見はきかない。寝込んで嘔吐、けぞるさ、倦怠感という人がおり、ワクチン休暇期間を超えて影響が出ることを心配している。

## 専門家から問い5（ワクチン接種の促し方）

調査結果をみると、自営業の人は、接種したくないという割合が他の属性より倍くらい多い。年代別では60-69歳女性で副反応が心配というのが3割くらいいる。デマ対策が必要になってくるが、どうやったら伝わるのかが難しい。いろんな話題にはしていただいているが、何を流すとちゃんとした情報が流布するか。インフルエンサーを使うといったアイデアもある。また、インセンティブをつける（ポイント）というアイデアもあるが、経済学者からはすでに摂取した人も対象にしないと不公平という話がでてくる。

### 参加者からの回答1

現在は主婦だが、その前に教員をやっていた。高校生、専門学校生をみると、動画サイトをみる若者も多く、そこにデマが含まれていることもある。誰かにお願いでというよりは、厚労省 Q&A など正確な情報を動画サイトを通じて自ら発信するとよいのでは。

### 参加者からの回答2

自己責任で判断を委ねられる現状を考えると、打てない人に対して、双方向で相談できる窓口があるとよい。

### 参加者からの回答3

個人事業主は1日休むと収入にダイレクトに影響。そのため、忌避している人が多い。打った人には、肩が上がるか上がらないかをまず聞く。仕事に直接影響するため。熱はでていても仕事はできると考える人も少なくない。個人事業主は短期目線で、今の収入が大切、という人が多い。

（接種のための休業に対する補助金があるとよいか、と専門家から問われて）申請方法が難しいと言われる人も多い。文章が苦手な方が多く、もう少し単純化してもらわないと手を出しにくいとされている。



# 記録 アンケート（ワーク後）

新型コロナウイルス感染症に関する日本の現状について、対話の結果を踏まえて、次の選択肢の中からご自身のお考えに近いものを選び、チャットボックスに番号とそれを選んだ理由を入力して下さい。

- 1 評価できる
- 2 どちらかという人评价できる
- 3 どちらかという人评价できない
- 4 評価できない

記入例 1 . . . . . だから。

## 評価 2

### 参加者 D

なんだか専門家の先生たちの真剣なまなざしを画面ごしに双方向のやりとりから感じあ〜ががんばってくれているんだなと思い、どちらかという人评价できるようにしてみました。

日本はワクチン強制ではないのに、ロックダウンも他国よりはゆるい。死亡者数が他国と比べて少ないので、2にしました。

## 評価 2と3の間

### 参加者 A

今回、専門家の皆様のご意見を伺ったことで、自身の中の情報や考え方がアップデートされたように感じる。そういったことから対話前よりも少し今後のことを明るく考えられるようになったが、評価を変えるまでには至っていない。

### **参加者 E**

ワクチンについての不安は話を聞いて、少しなくなってきた。  
もっと、情報よりも、人との話し合いや情報の共有が大切だと思った。

## **評価 3**

### **参加者 B**

まだまだ終息するイメージがつかほどの対策や見通しを感じられないので基本的な考えは変わりませんが、それぞれの立場で一生懸命考えてくださっている事を感じられる対話でした。

### **参加者 F**

いくらポイントとかプレゼントをもらったとしても、今はワクチンは打ちたくない。まだワクチンを打って数年経過した人がいない。年頃の娘を持つ親としては、将来娘が子供が出来た時にどのような影響があるのか??また私自身、老後どのような影響があるのか?怖い。ワクチン推奨も良いですが、もっともっと感染予防に努めるよう促していただきたい。

## **評価 4**

### **参加者 B**

専門家の方も悩まれていたように、国民に対する発言力、発信力が弱く感じる。メディアに操作される事が5回あったという事もあり、より正しい危機感を感じられる情報を発信して欲しい。

# 記録 イベント終了後アンケート

## 専門家による話題提供について

### 結果

評価できる 6人

どちらかという人评价できる 0人

どちらかという人评价できない 0人

評価できない 0人

### 理由

- ・普段メディア等からでは得られない専門家の意見や気持ちを知ることができる貴重な機会だったから。
- ・こちらの疑問点に的確に答えくださり有意義な時間でした。
- ・とても分かりやすかった。
- ・専門家ならではの目線を知ることができるので、視野が広がって嬉しい。
- ・きちんと一般市民の声も聞こうとする姿勢は大変評価できる。一方的ではなく双方向のやりとりがとてもよかった
- ・疑問に思っている点や誤解してしまっている点などすぐに解決され、不安が和らぎます。またデマの拡散も防げるのではと感じました。

## 対話の進め方について

### 結果

評価できる 6人

どちらかという人评价できる 0人

どちらかという人评价できない 0人

評価できない 0人

### 理由

- ・参加者を尊重しつつ円滑な進め方だと思った。また笑顔での応答や拍手など場づくりもよかった。
- ・参加者と専門家とのバランスの取れた会話
- ・順番に話すのがよかった。
- ・質疑応答の時間を多く取って頂いた事で、以前から気になっていた事を深く考える事ができた。参加者の自発的な発言やディスカッションが少ないように感じたので、「〇〇さんはどうですか」などの誘導があったのは話やすく良かったと思った。
- ・白熱して話題がそれそうになると さくりさんがクールに軌道修正してよかった。
- ・今回2回目の参加でしたが、多少の誤差はあるもののタイムスケジュールの調整や司会の方の進行によってバランスが取れており、とてもスムーズでした。

## その他

・田中さんのご質問について このご質問を伺い、私はそれをテーマに話し合うことのできるワークショップやロール・プレイングなどのひな型、フォーマットのようなものがあればいいと思った。ある程度の形ができていれば各学校機関から生涯学習センターなどの社会教育施設などでもそれを活用し、話し合う機会を作りやすくなるのではと思う。

・貴重な機会を頂きまして、ありがとうございました。専門家の先生のわかりやすい説明に、とても不安な気持ちが少しやわらぎました。対話することできっと救われる人が沢山いると思います。大人数でZOOM対話もいいですね。コロナワクチンについてはいろんな意見がありますが、何が正解なのかはわかりません。自分が信じたものが正解かもしれないですね。まだまだ、答えは出ませんが、たくさんのお気づきをいただき貴重な体験でした。ありがとうございました。

・普段会えないような専門家の方々と触れる機会が大変ありがとうございます 興奮しました とても良い体験になりました。どうもありがとうございます ありがとうございます

・本当に有意義な時間をありがとうございます。トーク力や意見のまとめ方がまだまだ不十分ではありますが、貴重な機会をいただき、さまざまな話題へ目を向けるようになりました。今後は私自身も何かしら力になれるよう、努力して参りますのでまたよろしく願い致します\*

**専門家からの問い1 新型コロナウイルス感染症の流行によって、社会や生活に大きな変化がありました。流行が収束した後の世界は、どうあるべき、どうあって欲しいと思いますか？元に戻るべきこと、変化を維持すべきこと、新たに变化すべきことなど、ご自由にお書きください。**

・様々なもののリモート形態や簡略化は維持しつつ、地域コミュニティやマイノリティ・社会的弱者に関する支援などリアルでの動きが重要となるものは元に戻った方がよい。

・すべてが元通りになる事は不可能であり、なる必要はないかと思う。 元に戻るべき事 ・離れた家族との交流 ・飲食店の時間制限解除 ・せめて夏場だけでもマスクを外したい。他の季節は苦にならない(マスク美人効果) ・家族の会社が甲子園球場の年間シートがあるので、早く使えるようにしてほしい。 ・東方神起のライブに行きたい(マスク着用、座って声を出さない決まりでもよいので) 変化の維持 ・町内会の行事をすべて中止 →役に当たった時の負担が大き過ぎる ・オンライン会議 →移動に伴う時間や交通費の削減 ・消毒液や換気 →逆に今までよくこんな不潔な状態の中で集団行動していたかと思うと萎える。 ・ライブやスポーツ観戦や映画等は、隣の席を空けて座る。 →コロナに限らず、何かしらの感染症はなくならないと思うので、ソーシャルディスタンスは必要。特に興奮しがちなライブとかスポーツ観戦。 ・手洗い、うがいの徹底した習慣 →コロナ前までは帰宅時だけの習慣だったが、コロナ禍においてはそれに加えて、お金や宅配便等他人の手が触れている物を触った後には必ず手洗いや消毒をしている。コロナに限らず移る系の病気予防としての有効性が分かったので、これからも続けていきたい。外出時には消毒液と液体ソープを必ず持参している。 ・電車内の換気(窓開け) →特に夜の遅い時間になると酒臭いので ・店に入る時に消毒液を置いてくれている事。 →ただただ有難い ・飲食店のアクリル板の仕切り →コロナ以外の感染症対策にも。

・収束した後は、元に戻る事はないと思います。食品や無駄がなくなり、地球も少しずつきれいになってきています。もっと時間を大切に、当たり前にあるものに感謝し行動すれば、前のようなぐちゃぐちゃした世の中にはならないと思

ます。昭和のようなゆったりとした時間が理想かも。

- ・進んだウイルス対策やリモートワーク、出前に関するインフラは維持しつつ、それに伴う運動量やストレスの対策の変化を求める。
- ・元に戻る必要はないし、コロナでむしろ大事なものが見えたしシンプルライフになり良かったと思う リモートワーク、在宅ワークなど あと余計な会議はZOOMなどでも良いと思うし、コロナをきっかけに 労働するスタイルを変化させ、もっとフレキシブルな働き方に変化すべき。コロナを機にベーシックインカム取り入れてほしいのが個人的要望
- ・感染症や病気に対する意識や危機感はそのままであって欲しいと思います。差別的思考や他人への思いやりに関しては今一度ひとりひとりが見つめ直し、改めていける世の中になったらと思います。

**専門家からの問い2 新型コロナウイルスの感染が拡大する中、東京オリンピック・パラリンピック、夏休みを目前に控えた今、感染拡大を防ぐには何が必要だと思いますか？情報、政府の対策、個人の意識変容など、ご自由にお書きください。**

・今回の対話を経て、必要だと思うことは2点。①政府による画一的でより現実的な施策。②ワクチンに関する正しい情報の発信。(接種しても感染の可能性があることなど)。

・周りがどれだけ訴えても出歩いて、マスクなしに飛沫飛ばせまくる人種がいるので、そのような人はテロリストと割り切りたいというのが本音。それ以外の感染予防意識高い系が徹底して予防するしかないと思う。外出控える 不織布マスク着用 手洗いうがい この3つはシンプルだけど、効果は高いと思うので、自分は徹底的にやり続けていきたい。

・家から出ないこと。が一番だと思いますが、何も考えずにオリンピックを開催する政府の対策に誰が言うことを聞くでしょうか？子供たちもずっと我慢していて、自分ももし子供や若い世代なら、友達とも恋人とも会わずに我慢することが耐えられるか、その時間は子どもたちにとってどれだけ大切か、あまり考えてないように思います。なので、きっと感染は拡大してしまうと思います。

・除菌、マスクだけでは感染を防ぎきれしていない現状から、過去に感染が減少した実績のある「外出をしない」「密を防ぐ」事が必要だと思う。1人飲み、立ち飲みなどにおいてはアルコール提供しても問題ないと思う。

・オリンピック会場や人が多く集まる場所にいかない 仕方なく行くときはマスクを必ずする。

・これは切に願っている事ですが、せめて仕事や不要不急以外の県外への訪問は徹底して制限すべきかと思います。



**専門家からの問い3 新型コロナウイルス感染症に関しては、どんどん新しい情報が出てくることによる混乱が続いています。(1) 専門家や公的機関が出す情報が、皆さんの手元までうまく届かない問題、(2) さまざまな意見があるため、信頼できる専門家が誰かわからない問題、(3) 恐怖を煽ったり、逆に過度に安心させようとする情報の問題など、情報の出し方・内容のあるべき姿について、皆さんの立場から自由な御意見をお聞かせ下さい。**

・(1)について 難しいと思うが、他のメディアやSNS等と同程度の影響力を持った専門家・公的機関管轄のメディアを作ること。そして、それを共通のものとして用いるなど(例：テレビなどの放映後にそれを必ず資料として紹介する)。(2)について 正直どうすればよいのかわからないが、いっそ専門家の一覧がほしいと思った。その人物の専門分野から立場、実績などを一律に見ることができれば、それぞれの主張を考えやすくなると思う。(3)について 既に作られているかもしれないが、コロナに関する情報発信についてのルールブックや規定などの作成など。

・昨日の座談会で、専門家の方が若者にも届くにはYouTubeはどうか？と疑問を投げかけておられました。その後、考えてみました。私の23歳の娘は、TVよりもYouTubeを見ている時間が多いので、若者はYouTubeをよく見ているかとは思いますが、ただそれは自分の見たい物を検索して、それだけを見ている状態です。ですので、若者がYouTubeをよく見るといってそこにコロナ関係の伝えたい事を投稿しても、検索してまでも見ないし興味を示さないように思いました。YouTubeを見ていたら、強制的にコマーシャルが流れるのですが、それなら見ないと仕方ないので見るとは思いますが。そこで考えたのですが・一般市民と専門家における公開座談会・街角で人から集めた素朴な疑問に専門家が答えるこのような企画をまずTVでやり、話題になってきたらYouTubeで流すとかはいかがでしょうか。一般市民は、専門家の方が想像もしないような事に疑問を持ち、不安を抱えている事がありがちです。更には、全く違う解釈をしていたりとか。それらのひとつひとつを、一般市民でも分かるように教えていただけたら、国民も正しい知識が付いて、感染予防に対する意識と高まるので

はないかなあと思います。

- ・情報は生配信が一番だと思う。市民が誰でも参加できるようなものなど。YouTubeも何がいいかわからない。お年寄りにも情報がうまく伝わると、心配も減るかも。批判しないことも必要。

- ・経済産業省のHPにコロナウイルスに有効な海面活性剤の記載があると、専門家からの発言で初めて知った。意識が高くないと正しい情報へのアクセスが困難なので、メディアには「興味がある人はこちらに問い合わせください」など、アクセス方法を報道して欲しい。また、ツイッターやメールマガジンなどの媒体を通して短文でも良いので専門家からの情報発信があると安心できる。文面はライターに任せても良いと思った。

- ・一方的な発信ではなく、ZOOMとかで専門家に相談できる場所を国民に提供する。コロナ接種して副作用が出た時に最寄りのクリニックや病院へ保健所に相談するが、適切なアドバイスが受けれていないので、しっかりと情報を提供してほしい。そもそも政府がもっと国民から信頼されるように、いまの議員を一掃してほしい。もっと国民のために動ける人、現場からあがってきた人などをとりいれるべき。

- ・受け取り方がそれぞれでするので同じように伝える事は大変難しい事だと思います。多少の専門用語が含まれていたとしても正確な情報の開示と開示場所の周知に力を入れてほしいです。



